

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年7月20日(土) 13時～15時半 定員15～20名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 交流会（近況報告）

3. 参加者数 16名（内訳：当事者1名、家族10名 専門職0名）

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、広島県から竹内裕さんをお迎えして交流会を開催しました。竹内さんは59歳の時に前頭側頭型認知症と診断を受け、全国で当事者として講演会に登壇。診断から10年後に「認知機能の低下がないので認知症ではない」と損段が覆り、認知症の当事者の気持ちが理解できるという立場から全国で講演されています。希望大使の大城勝史さんへ会いに沖縄へ来て頂き…カフェでもお話しして頂くこととなりました。普段、土曜日お仕事の認知症希望大使の大城勝史さんも参加され、楽しく過ごされました。

5. 所感

当初はBBQの予定でしたが、沖縄県内コロナ感染が流行の為、竹内さんのお話会と情報交換会を開催し、参加者から竹内さんへの質問もとてもたくさん出ていました。認知症診断されても経過をきちんと見ていく必要があるという学びの機会になりました。今回のスイーツはブラウニーとクッキーシューを準備しました（写真撮影するのを忘れまして…）。



★次回予定：2024年8月17日（土）

以上